

小精廬日記
昭和十一年四月
上院起筆

特別

14

1919

623

35

40

45

50

小精進日記

昭和十一年四月以降

四月一日

昨夜雨ふ今朝晴昨夜完井口具成の婚祝
 披露：枕をん行く、祀うじまじき田張沢らん
 加尾清心（吉右衛門の演）を聴く、高橋大伴
 ；節子、志中尾：枕をん（逢）遇おまの居り其
 の昔節三巻装演成心バツツの程心舞か
 説巨演也、旋舞と茶下ま又日賀の在況也

元和四統坊の技家ありて、坂田誠年攝、十
一時出陣、其の段とやらと、何年か、白毛後、又至
程と著す、菊屋なる人の、何れか、坊内、古道、の如
情の、徳定とあり、来る、この、坊、屋、也、飯、塚、彦
次、今、村、隆、に、技、術、

六日

西、今、村、と、惣、理、し、て、同、古、飯、塚、今、新、徳、二、定、の、著
記、歎、ま、す、と、未、也、春、城、の、更、人、と、し、紀、念、品、を
贈、り、午、後、如、法、に、菓、し、晝、膳、に、到、り、梅、花、未、也



一、五、七、是、也、二、三、口、を、經、て、一、時、の、あ、り、て、三、園、社
に、法、牌、を、捨、し、如、弘、福、寺、に、入、り、法、外、山、の、像、を、見
川、汽、船、を、手、島、橋、の、度、り、自、動、車、に、乗、り、て、物、志、川
柳、を、後、人、と、無、聊、と、著、す、未、也、二、三、と、著、す、其、日、執、事
の、遊、金、二、十、日、と、著、す、未、也、

七日

崎、田、村、壯、次、り、拍、桌、高、(田、及、菜、の、ゆ) 年、午
拍、と、著、す、小、米、堂、と、著、す、(子、重、雄、(漢、戲
二、重、家、年、攝、) 旅、記、と、著、す、印、鑑、(政、印、)

傷を大日本印刷會社に出す、彼等より次々と來
出、然し何れも樂に陳列の爲め此等、其の道に違ふ二
十餘、度、酒を酌し、路を、坂に、献を、其の
春城、今、祝の、金、同、ち、三、十、日、也、受、領、石、川、村
同、者、彼、も、師、也、同、者、其、刊、と、此、も、吉、田、君
七、五、五、相、馬、強、公、池、兼、人、生、行、路、配、本、揮、毫、也
數、紙、落、友、の、別、在、町、守、長、村、上、也、林、橋、一、函、を、贈
り、未、の、五、時、紅、筆、後、に、到、り、時、今、に、歸、り、方、の、井、上
増、田、四、中、森、印、月、其、人、也

藤原表

八日

晴、解、未、旋、解、を、著、す、也、朝、比、至、日、一、今、村、燈、を
未、出、吉、田、秀、人、司、法、出、飲、部、の、好、況、を、報、し
余、の、権、利、に、名、も、多、金、額、三、千、日、の、五、印、の、古、を
報、し、也、其、の、関、大、り、し、未、出、十、一、時、出、游、紀、生
に、似、し、と、仰、へ、る、午、後、雨、多、格、是、情、の、施、慈、燈
七、時、也、五、時、田、里、の、雜、叙、圖、に、紙、を、十、款、分
に、臨、み、此、家、の、芸、木、十、款、の、押、書、也、其、の、妙、也、錦、を
九、の、二、室、也、一、日、其、の、家、に、願、書、を、深、更、地、産
其、の、藝、也、八、十、款、も、尚、井、の、餘、幅、を、報、す、也

十一日

晴、朝未始候と著す、其始典二し、海に出る、
田中、おらるるもの、沈黙(沈黙)と云ふ、
森路の山口静考(谷根出(出))、
書院と著く、
谷仙娘姑婦(二十)の切手を贈る、
散策市子
の極花も元上、
年の如く、
元壽言、
十時未

十二日

日

藤原

小内、朝未始候と著す、
其を七と、
の件、
本橋、
リ、
ず、

十三日

朝未始候と著す、
烟山子、

龍峯之愛く江頭山柑と未だ千後七旅路
三方きつしく、望み未だやの日本舞榭を渡り
中印より珍、和回美しく未だ加藤法二印も
海色別。

十四日

山崎空三もいふ河、山崎義五も榊島正表
二向ま、煙山香大らしく海色を渡る、十時出船
東台の花を元、墨堤を訪れ、道り沿ひの、一花七
葉中々しく、今も満洲を紅雲橋を人化

榊原表

仙臺に在るの思ふ、去命寺坂の入り元、
多く、碑の森、寺のまじり、更生七旅路の
松守新味、北岸田、江崎の確、苦
草の匂、碑、七、二、在り、何れ寺を真まて七
や、橋もりの堤上、更生しく、今、文化、建、築也
下谷、度、山、路、に、自、動、車、と、似、ひ、風、月、也、飯
一七、畑、く、く、竹、村、を、り、系、次、下、関、空、丹、二、個、を、踏、く
二、余、も、も、春、城、園、に、自、踏、く、雲、の、舞、台、を、看、た、け、
快、く、向、り、梅、津、橋、の、六、坪、の、遠、景、を、看、る、と、清、水、

十五日

時、相来雜誌を讀し、沈意論を讀む。樽島
正義も「未だ」坂井氏の「中」を「新刊紙」と名
せしむ。寄せるも、山岡義典の「未だ」午後松
本寺一を寺田四田書院に訪ひ、控訴中の場合
對徳の差一件につき一時の協議し、出
し、東台の花を觀て歸る。花に入り、空
未だ

十六日

藤原製

時、比淑雄の訃報を在行所にて讀む。其
中時勢右に散策物を讀み、之の感念の英文施
法「大日本」北海道「難」外人に北海道(地)を
勸める文と載せんと著述を讀む。午後一時
雷鳴、雨一停し、未だ在行所春城の「負」の多
内、空の直流あり、余の直專祝品代として
谷三十圓を送り、未だ午後五時、大隈公使に
「得」の今、海軍、回到向上令(一)を

十七日

昨解未始ぬを兼て、以上は花を注射を多く人の
病に在りて、数紙揮毫、新丁の祈り、三陸列の芳安行
の書畫六點、庚辰未の、午後散策九じルも、宿也、
無子亦小飛、散髪、揮毫。

十八日

昨、山陽^新報に并、御後園谷辰田村の山口平八が
二揮毫を郵送、五月十二日(同)同市館夫人の通條
列、(五月十二日)午後二時、紀淑雅の告を
式に臨む、夕刻一、橋の末、今、館に、か、下の、末、ま

七、山の法塔式あり、臨席、う、頃、大、う、ま、ま、
真、山、典、二、ま、の、子、系、の、法、城、及、地、と、終、る、夜、十、時、
味、早、川、の、東、東、山、子、節、氣、号、板、焼、し、夜、未、而、風

十九日

日

雨、勢、あ、お、の、中、ま、ま、未、出、且、の、春、城、今、の、祀、を、載、也、
う、文、藝、春、秋、五、月、節、と、寄、り、て、あ、る、光、の、付、散、
葉、新、春、三、福、に、似、て、ま、ま、お、世、と、出、て、物、々、田、宅、
傳、持、依、頼、送、時、を、移、す、二、三、の、以、来、夜、中、咳、嗽、お、
こ、り、困、一、と、叶、の、ま、ま、為、り、喫、烟、と、濟、す

二十日

所、孝安殿前より：簡子、山崎、是太印、揮
其毛を交付し十時散策、北に浦す、由書後
伊月醫士より診察、鎮咳薬を多く、石丸
太の、大英回民、其ふ」を後、出政部、
来の三子の内、その名義を、持たぬ
行、定、秋、け、の。

二十一日

所、熊野、中、の、山、回、民、心、と、三、色、板、と、献、古、文

藤原製

獨、石丸、殿、前、の、道、若、と、秋、の、午後、散、策、服
部、時、村、君、に、銀、兵、(少、井、ス、キ、一、入)と、贈、り、
八、日、也、女子、大、学、の、校、長、成、願、の、記、念、品、に、来、日
本、回、民、の、協、力、を、
の、道、贈、り、の、夜、未、雨、也、

二十二日

所、石丸、殿、前、の、道、若、と、後、又、山、口、と、清、三、双、雅
房、と、書、の、家、族、中、(平、回、亮、木)仙、魔、物、の、山、口、
下、(二、三)と、贈、り、来、る、大、江、平、回、民、衛、士、集、

直に返電を出す。午後散策、浅草の坊主と
予の客館を収め、後、奥具に別来、小澤恒一、大
の教務課長と予の挨拶、未接。

二十三日

小雨、朝未後、一時とあり、赤坂坂を歩くと、千
夜文の巻を拾つて、園書を返す。後、日よあり、後
口献まゝ、五河成島柳北の字をいと拾う。未接。

二十四日

晴、朝未接、午と暮、下山、約去、英文大

積原表

日本に揚ぐべき、北地(道)、外人の漫遊を認め、
文と口授筆記、午後北地(道)と聞くと、
二、三の文献と後人、時を抄す、余の近刊誌、
林好漫遊、の、洞魚川批評を北地(道)報、
三、邪と直の連続、見。

二十五日

雨、朝未接、散策、花木肥料と婦人、
高崎、倉倉、村山、新浦の、
物の、運、雨、男、女、未、雨、午後

龍吟と筆す、不婢一人不返、一抱一圓之、還天
舟是六見中、和久文三、妻未、雨と交へて風吹き
最み夜に入ると止まらず、日立、火中、の隨筆と後出

二十六日 日

所、相来雜紙を筆す、中島芳男とて来也
伊月義文とて將田十二本、利来、大木陽也との
葉、源、論、評、を、後、に、散、采、紙、生、の、資、生、也、
喃、吉、見、義、の、夫、婦、は、時、の、換、抄、未、に、依、
二、右、十、通、年、口、忌、際、一、遣、子、徹、確、と、こ、

石山集抄巻と題り来り。

二十七。

所、朝来龍紙と筆す、東都、石山、四、所、心、の、書
出、接、す、因、了、一、人、来、の、依、益、徹、確、と、
書、す、原、本、早、中、幹、古、ま、功、皇、子、馬、沈、枝
去、辞、任、ま、り、き、後、任、を、堀、深、し、て、お、り、吉、田、村、陰
の、出、幅、を、高、く、一、盤、山、を、海、ふ、ま、り、る、慶、化、
こ、ま、に、す、後、中、條、在、下、世、定、五、十、日、送、
類、紙、の、品、と、辨、り、七、物、と、日本、美、術、協、会

〜未之花未のあり

二十八日

雨村上日出る金大印の爲押立七島送、市の寺
移とぬめり丸善の号燈記念部到来、三木
十畝と題えんが草紙の物志装成、村山秋
圃未活名家書洞書二個、署して世つる、
全四万回款金引出す、英文大日本、字の支
き北海道澄海と外へ、初らる文中二三
神終の稿を属し、午後教員三時半ゆへ、

天長節

京都便利者〜榎本鑑真和上東征傳を
贈り、文三頁、二十日交付

二十九日

天長節

町下山錫文、北海道、潤り、厚紙と郵送丸
善者、名〜字終、寄附部会二十日到来
十時出遊、中流、長途と教員、上野代
堂、浦上七切、中流、萬次、午傳と讀む、

三十日

昨朝来船を考す、先指の房次書代四十四
文は世の出来、つげある保陰、割引の都
合も、実業の本化保陰、新く抄すこと、
る、大江に在り、其の多、船と航、金
四十四の、三十三の、改まら、衣、金、
し、海、重、柄、し、つ、一、船、を、定、り、七、舟、の、
武田上、来、河、押、毫、を、改、め、洋、業、一、船、と
考、す、午、時、交、を、は、め、と、教、弟、紀、世、に、由、り、と
ゆ、り、

五月一日

昨朝来船を考す、先指の房次書代四十四
文は世の出来、つげある保陰、割引の都
合も、実業の本化保陰、新く抄すこと、
る、大江に在り、其の多、船と航、金
四十四の、三十三の、改まら、衣、金、
し、海、重、柄、し、つ、一、船、を、定、り、七、舟、の、
武田上、来、河、押、毫、を、改、め、洋、業、一、船、と
考、す、午、時、交、を、は、め、と、教、弟、紀、世、に、由、り、と
ゆ、り、

二日

昨、日本國方船旋返に連載の余り陸軍校舎
の上投郵十一日程打寄の道降川の道降川の
金刻万田川出ち、後回のお先満洲湯庭の
新條復の趣漲り尚ほ寒氣をのみ、西化屋
昂外套代、の六十日押入、散乗旋返を眺る
物、西条丹二、原守と、紫蔵を定り、
也有の鶴衣と淡い、る山、る、科、科、其、原、
和十日到来

藤原

三日

昨、朝来於船を著し、先を促りて散乗の
橋、ゆくと、ゆくと、丹、丹、并、之、山、山、
用の海義館を交切と附えんと物、
す、鶴衣と淡い時を移す

四日

昨、朝来於船を著し、又回者、
ぬ、た、へ、き、隨、着、才、六、回、
海義館交切の、
和、あ、文、三、

五女と信の母の婢代り、歎かふ山口宗大守
とと来出、出取部、校尚、海義、此の欠部、
補充と七とある、午後散策、二三層、堂と心し、
明治編年史、第十二巻（日露開戦の）を飛本
し来、日本国書館、今と来出、今、物、海、
三つ、是、三、五、も、来、出、思、慈、研、究、所、と、也
刊、を、定、る、来、の

五日

時、迄、善、の、前、於、と、同、去、故、場、今、も、是、迄、不、修

棟原

三、中、村、山、崎、の、由、身、流、出、物、報、生、と、報、息、の、怪
子、を、贈、り、其、中、に、飲、り、七、つ、り、と、其、の、四、を、紙
入、と、題、し、四、時、出、回、呈、次、印、と、記、を、複、写、
今、の、日、八、合、と、い、く、し、今、も、三、編、出、席、と、例、の、如、
款、法、晚、飯、の、際、と、交、わ、合、員、伊、原、君、の、國、号
佳、を、得、た、と、祝、す、大、谷、明、心、出、來、七、の、渡、り、奉
危、く、相、ま、す、

二日

昨、朝、来、雜、報、を、著、す、理、科、友、縣、入、滋、谷、盛
一、月、の、博、覧、會、と、い、ふ、今、村、降、し、と、来、書、

村上の生谷金大守より薬子二冊寄るを奉り
あゆみおき行きて睦合に詣り余の由書
すもふまの文の田や井上増田望月と余也望
口多ゆに二冊も寄る。夜未向の二巻書
二冊寄る

七日

而雪定期の大掃除を行ふ竹内尉も来
河、大書日本保険部と火災保険証書
未富山房より山田様全集二冊寄る
よき余の序あり十時出て、教員丸の美

藤原教

新りうブル宋室の陶器見上り日月と飯
ゆふ午後雨あり今夜大谷城心と
お屋に飲む余二種と贈る後屋相
の支那の山と庭園を讀む

八日

時今村隆田村社二冊、細川孝成文と其後
海義松屋印代四冊の詩と梓屋六冊
二巻中二種贈る、故紙を著す坂本吉次郎
二一巻も寄る、早稲田中書と社員今月の集

書、散末始に、物を購ひ、田舎新報と筆

九日

所、朝来始に筆下す、因丁二人来り、松の手入と
なり、余の投箱と扱ひ、因丁の投箱に、松利
十二日、因丁の協会の懇話会に、客として招待
を蒙り、午後、輝亮十教、成る、小水存
小水江成一斗流、出政部、と近刊、は集以
新(福井久尾著)上巻を、客として、午後、又

藤原

始に筆下す、徒に、上、心を散末

十日

日

所、朝来始に筆下す、因丁二人来り、二十四日
早稲の工手、の投箱、廿五年、大典の扱、松利
、相馬、神凡の、徳、と、配本、光を
、伴、少、の、三福、と、飯、と、中山、忠、直、と、如、洋、書
、集、才、二、書、と、客、を、集、と、神、凡、の、徳、を、後、の、時

を、集、と、

道邊聚の通條列の二時ち山の天隈家、列り然り
刀自三年祭典に詣ち、隨筆二程祭典に就す、依氣座
あり、冬の如く庭園中、寒く、地す、熱燗を熨り温を
より内宅。

十八日

市、朝東遊程と兼す、在奉天の二日、内より未出
飯上弘花、了る例り注射を多く印刷所の五十
元良晃と扱き、字も中、滋澤本の印刷も扱
す、今日、中、原、集、る、今、あ、三、月、廿、四、日、に

七十山道、以依、以、少、創、立、五、十、五、回、(一、年、三、つ、を、押
是をもあめ、あ、七、世、澄、(祥、尼、慧、暢、)廿、三、回、忘、の
本月廿八日、の、高、山、傳、海、心、院、も、回、向、の
照、台、未、の、伊、月、未、冷、北、細、行、板、の、山、崎、院、二、年
所、午、後、出、給、水、所、と、教、果、ま、宗、家、を、廿、二、日、に
時、も、今、迄、今、の、あ、あ、内、列、る、

十九日

市、兩、朝、未、難、保、と、兼、す、宇、尾、山、院、滋、澤、山、京、三
又、扱、商、校、に、獻、言、集、法、阿、部、受、一、の、太、平、

既消寺坊を戻過 紫房ありたうと紀女梅干一
瓶を所持し、北城坊に五十五年記念の巻紙
二枚押す

二十日

夜、丹兵衛亦再訪物を贈る、北城坊の山崎宛
二束梅、開くらしむる金山に物轉の目を報し
来り、午後復を時と移す、四州の自來の印湯屋
川を始末す

二十一日

標原製

夜、七世澄江三回忌(廿八)のつき金丸入者状を寄
贈、山崎沖心院に寄し、回向を頼む、紫房ありたうと
謝書と名刺、款金を同封す、散葉紀生、物を
贈る且つオリンピックに贈る、雄山閣をも公府存
座(才二巻)を寄る、念持海庵の料紙概
説(木下海庵印)後、山崎海庵の巻紙、寝後咳
嗽に困る

二十二日

朝、咳嗽にもうさす、午後喫煙を減らす、雑書も後
あ、氣分が晴んぶ、午後三時大隈清を、巻紙の

才二面直達祭に臨む。四時より高田と九上管へ公
老の居るに抵り下村視山進場今臨む七名出
席、夜に入り内宿り

廿三

雨、竟き元次を未亡人立子彦に千九印を御外を
とら即ち一河と世に六六日本印刷今地と世に刊
行後三冊利未、雪ふる来を晴れす午後寝不
こ入る宗家の居法今断り、咳軟軟方元入今
眠に就く微熱あるに似たり。十時以後咳軟に困る

藤原製

女、眠を得ず、曉に達す

二十四

日

雨、少くも甚天、鳥を漢を依く、病人を憂
ます、朝も高若くあり、午後伊月の収冷を
受け、胸在来より刺し、氣を在り、病の輕
快を感す、出外、夜半一日、長長の泥勅あり、法
全後場、別在地、用膳、三回、五十五、是迄
高田山、清浄の院、未だ、喜代、四、山椒の
煮物を終り、来り、夕、夜、三、物、風、来、寺の

佛法僧の馬車と読ん

二十五日

早冷病氣新快をいふ、午前三四の次第
り皆而令をぬり、午時迄は先七洋会と
つら、丹兵衛、佐藤、澄子、其の、早稲
田、文入、六月七日、創五廿五、内、年、祝
賀、今、の、あ、上、の、状、判、の、柳、保、志、伯、の、判、判
の、此、人、後、軍、川、為、角、三、柳、保、支、照、の、次
申、也、早、大、主、縁、か、あ、夜、入、う、う、じ、大、る

徳富

又佛法僧の馬車と読ん、二十分、改、改、今、亦
一日延長せし、午後、も、奉、申、中、に、存、夜、に
入、

二十五日

懐少、病、病、存、る、あ、但、咳、嗽、軽、く、漸、く、快、方、井、上
源、之、丞、も、来、之、也、汗、の、を、朝、来、る、丹、兵、衛
房、の、字、尾、の、波、も、来、之、方、出、る、も、と、科、能、無
才、九、丹、七、配、奉、し、ま、る、テ、の、部、に、余、の、甚、心、に、係、り、蒙
刻、の、項、并、に、家、危、の、印、譜、を、物、志、存、申、判、旋、法
と、漢、又、無、聊、を、考、え、今、村、路、も、鞠、の、園、演、説

を贈り来ると花邊合終了

二十七日

雨分村降降葉新山陽挿竹の件尋お合のめ
すの振、早中、お校長若和長正房本許吉
田付挨拶の着来込、杆屋(稀方家)六四、
らし己般余の隠養を寄りて謝禮と
一七正宗二程葉子一函を寄りて、
後雜紙を寄りて出取部として印後二十九日
亥刻来、森田亀く由馬坊豆酒一七話す

横原

二十八日

雨田村社ニ了り、もの他文記し、来り、
り午マキを始り来り、先田付教葉は初りの三福
に故ま、ゆき一二の言、時、登、法、
後、三、四、の便、色、を、得、
通ず、才の投、和、七、ぬ、
村、順、為、く、来、
間、一、七、台、初、
谷、

二十九日

雨、初、来、
と、来、
社、
池

玉を巻く、四万四千金、石印元巻の計刊、
法中島の巻、或三昧と讀む。

三十日

雨、朝来始雨を著す、
十四日、朝来始雨、
七、
雨、

三十一日

日

梅原

雨、
朝来始雨、
七、
雨、

〇六月

一日

朝来始雨、

ヤイ全集第一巻を贈る。決別物故。ささき
橋本銅牌二個と贈る。夜後睡床を切り起
きて酒を飲む。十二時漸やく眠。

二日

時、朝来旅帳を著す。至入一中。此處と
午後又而ふり雷雨。後出。時を移す。五時
既。到。時。今。時。今。又。多。層。多。の。高。田。井。上
と余と三人のみ

標原製

七日

日

時、旅帳を著す。伴人の旅帳に散策。物と贈る。予
リンピソリに唄し。ゆ来。後。出。且つ押さ電

八日

時、朝来旅帳を著す。午後北執事をつく。類
皇万由目引出す。今夜うご才の夜送る。ゆ来
へ行く。マリソリに唄し。ゆ来。後。出。且つ押さ電
旅帳を著す。予マキ到来

九日

乙、朝来旅帳と筆を、而中衛頭に出い物を贈る
逐に新留の三福、浦美、平の寄符、瑞葉、とぬ
り多回寄符、旅帳、二枚、到、寄、以、の、お、送、り、又、の、四
と、後、三、

十日

今朝三時、以、驅、而、あ、う、曉、に、到、り、時、に、朝、来、旅、帳、を、筆
を、其、田、中、寄、符、を、其、大、山、慶、知、師、士、傳、經、の、法、以
上人、に、寄、り、せ、り、ま、り、ま、り、府、令、派、り、法、送、り、奉、り、行、ふ、余
の、抄、書、に、寄、り、お、ぬ、り、北、城、右、衛、尉、三、五、十、五、年、地
金、銀、利、の、事、終、り、四、邊、故、今、ま、り、廿、五、日、内、年、に、念、り、

標原製

萬年筆、を、贈、り、来、り、午後、八、時、迄、以、筆、を、筆、を、又、
一、由、来、り、其、後、味、曾、を、贈、り、法、師、上人、係、を、法、師、

十一日

乙、朝来旅帳と筆を、山田清徳、其、海、の、彦、持、
合、に、筆、を、贈、り、心、に、つ、き、余、の、意、見、を、徹、し、を、
京都、新、村、出、に、投、函、に、下、川、小、名、校、政、長、成、り、
此、公、品、を、贈、り、来、り、教、来、丸、長、に、近、利、也、を、贈、
り、其、書、を、公、也、に、致、し、心、を、又、極、好、を、筆、
す、今、夜、十二、時、と、い、こ、も、持、た、め、法、州、上人、の

（八）

瀧田大川三ノ瀬を越く事あり。燈籠、白樺は葉を是し
_{（九）}
 竹も亦も、吹草多。早中出身有。四ノ相の為め
 新任祝賀令と信ず。のあまの、此早中後と
 未、敬まふ。谷風月重に、喃ん切る。於此を
 後、夕陽に、

十一日

横濱加藤別も未、前朝来。國寺殿。施儀
 二、高き。き。を。録。午後一時迄。二十数
 頁成。四谷。後。四。番。市。の。所。得。金。の。決。定
 通。知。也。別。也。

榎原製

十二日

朝、園丁二人来。日本園。出。飯。俵。分。施。儀。池。養。而
 子。養。録。亦。七。回。を。寄。附。坂。上。弘。花。自。身。の。注
 射。を。施。す。宗。家。の。こと。を。録。す。未。の。午後。施
 録。を。兼。す。夜。に。入。り。文。巻。春。社。を。謝。禮。を
 寄。附。す。

十七日

朝、朝来。施。儀。を。兼。す。又。飯。俵。春。社。を。施。儀。を
 寄。附。す。需。め。未。の。隨。筆。頼。山。陽。の。政。行。殿。の。與。籍

二十四日

陰冷、随筆、奇思、一篇、文藝春秋社に投稿、猿
を筆す、改日、献る、為、物、隨筆、山陽と題す、
中央放送局の植村敏之、來訪、毎月、奇放送を
請ふ、是、意、満了、を以て、あ、大、字、
春台の紫芝園、園、を、後、任、友、銀行、支店
預金、三百七十七圓、六十八銭と決り、亦、
知、利、

二十五日

晴、相、來、於、我、を、著、す、高、島、を、
色、紙、の、押、亮

榎原製

高島を著す、今、村、隆、と、來、也、未、文、藝、春、秋、社、に
來、也、新、宿、校、友、會、の、山、口、宗、八、ら、し、
書、余、の、押、亮、を、先、行、也、と、書、し、未、之、十、一、時、
新、宿、の、三、福、會、に、
レ、ン、を、き、ら、に、
パ、ト、ラ、を、淡、々、時、を、
井、口、宗、八、を、冊、と、
新、宿、格、の、ク、レ、
レ、

二十六日

晴、於、我、を、著、す、
印、に、き、り、卷、二、冊、配、本、と、
中、央、放、送、局、

多兵打極打あまきう切に放送を為さうつ
大純味濃庭一居換あを還す七月三日
時二十分也) 立^新部^心あ子^も未^出放送の
高^領を^著し^と局^く投^郵、^日あ^子二^反同
を投^書、^阻草^山陽^稀多^家二^同、^其不^深夜
帝^雨あ^り

二十七日

而^取、^朝未^控取^と著^す、^徒人^心出^遊甚^と著^す、^味
一^七少^く、^珠取^一、^法宗^本其^の次^創、^報

榎原製

主持^奉、^又院^公を^著す、^五十^以強^命と^托を^賜。

二十八日

日

而^耕、^系雜^録と^著す、^伊原^ち、^國、^何内^也、^物
乃^是、^一也^と七^との^取、^と取^る、^中、^教、^日本^橋、^首
董^鋪、^も、^金、^局、^金、^局、^入、^十、^品、^佛、^像、^と、^好、^心、^也
物[、]、^雜、^法、^と、^後、^又、^又、^利、^と、^利、^と、^二、^三、^信、^也、^と、^揚、^す

二十九日

山陽侍候の画面に題墨あり、かく見の浴衣に
友と姫の顔九日也。伊豆屋茶丸くとも茶也、日本
縣公も三年同れく、福治愛三とて又の教所
也、全る地巻や、抽録と清ひあり。

五日

日

時、朝来地巻と筆天放込向くと海状利之光を付
あを散来、乗合自動車、目白まで行き、あ
乗換く終に、板橋迄の、白國に到り、入國
し、軍犬の遊泳競りも観り、此國大観

榎原製

換者殿の好國地多、尺神井、此迄も練
馬街也、郊外の風景おもしろし、此路日向
に、車、新右衛門の三福、酒合しと留り、余の今
の一文を好む、ち年々板敷本利達、改行版地
葉山陽一郡早大回を、一郡早大出取部、二ヶ所
其夜来也

二日

病、初来、死ねと云ふ、此の病、心も切、不割、松、香、莫
十日、交代、不割、未亡人の為、紀念、帳、を、題、字、を、付、す

出政部より申元、二十九日利来、先吉未三人、
法に般花を去却、二のき、角の興か、此為の謝礼
として物を贈る、木林勝美、松島、法、子、能、能、を
申す、少米、望、三、と、長、酒、老、新、を、定、め、申、す、五、時、に
美、徳、に、別、り、時、令、に、臨、む、松、島、の、能、出、席、

七日

雨、冷、氣、中、二、二、六、事、件、判、決、元、狩、校、十、七、名、死、刑
区内、防、衛、令、に、入、今、と、申、込、古、年、額、二、十、四、出、席
を、約、す、山、口、平、八、年、々、々、来、出、お、馬、法、令、の、追、第、

標原製

福生、院、心、配、奉、早、大、と、法、を、或、法、中、の、四、法
天皇、と、申、す、し、と、又、了、来、六、十、時、と、教、策、高、時
心、名、を、二、酒、飲、し、を、物、々、干、後、後、心、放、送、局、を
放、送、金、四、十、日、領、收、

八日

昨、朝、未、遊、園、と、是、も、細、川、若、石、と、利、根、川、園
志、初、版、二、冊、を、精、入、預、金、を、因、川、出、す、丹、美、
原、子、の、宣、安、子、と、来、出、

今昔の材料の改訂、大吹雪の事、午時出て、下谷川
月三浦、麓山、素こ、二三印譜を、文政、徳也、山陽
改訂版、素久、一、中、其、春、城、関、光、高、命、
お、行、り、実、業、日、本、社、龍、王、園、さ、る、山、高、命、を
寄、り、早、大、園、山、陽、と、出、版、部、く、改、訂、版、題、單
山、陽、と、題、し、馬、道、を、一、過

十二日

晴、朝、来、出、版、の、今、昔、の、存、在、を、世、り、午、後、三、十
五、分、氏、の、僕、人、と、教、養、お、と、精、心、を、修、る、を、今、昔、の、改

榎原製

一、七、日、入、り、午、後、三、時、あ、ら、山、の、大、隈、邸、の、別、り、之、の、
海、の、活、波、久、々、の、略、を、余、記、し、と、も、証、証、の、の、を、
大、隈、合、名、を、思、考、の、海、龍、あ、る、余、の、一、場、の、換、打、
を、し、一、晩、間、帰、宅、休、海、の、塚、原、徹、も、と、来、出、日、
活、波、の、此、月、社、名、所、任、り、つ、き、去、回、来、入、社、名、
就、任、の、換、打、状、列、の、杉、川、某、回、中、う、う、と、家、名、
友、合、の、世、一、つ、き、来、書、

十三日

雨、朝、来、出、版、の、今、昔、の、存、在、を、世、り、十、分、教、養、成、る、

今田中宗利様、ふも侍人び形おの三福酒
飯し、ゆり又も行書也、別魚河、もも来也
早大の清承、もも十九のちを授る、今も臨席の事
決す、連方の和を、家園の池水漸く漲る、原久一
ちとんストイ、金葉亦二巻と、守りて来る、又三巻
来也、

十四日

晴、朝来也、飯の今若の福と、善の心漸く成る、
一校、山底もみり、初来、郵投、多返光と、付

榎原製

ふと散来、奉命、京成電車、地丘とも乗車
乗取山地、産を、沿り、初物、園地、お波の、舞、舞、二
寛永寺、改野と、地、産を、延、堀、切、西、午、候、高
砂、古、砥、等と、延、河、之、甚、く、も、下、車、江、戸
川、堤、と、お、し、河、之、甚、を、望、み、回、し、る、を、電
車、上、り、上、り、と、切、く、の、片、道、時、り、約、二十、分
河、之、是、の、書、生、時、代、に、候、し、教、果、の、地、也、
皆、身、身、齋、例、も、も、中、元、の、贈、物、多、し、

十五日

時分

也刊

歌集

此去

現

遠

去前

候

年

物

書

時

秦

夫

月

法

有

時

九九の収別冊

榛原製

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

榛原製

